

第 11 回 人にやさしい地下空間セミナー

「災害と地下空間 — 災害時における人の行動を捉える —」



行事コード：542203

■日時：2022 年 10 月 19 日（水）17:00～19:00

■概要：地下空間が都市の重要なインフラとして今後もその機能が発揮され、人々が安全で安心に利用できるよう、私たちは研究活動を行っています。新型コロナウイルスの感染状況はいまだに収まらない中、日常生活だけでなく都市機能にまで影響を生じており、大きな社会的リスクと扱われても不思議ではありません。一方で、リスクとして最たるものは災害です。最近、日本では特に自然災害が多発しています。今回「人にやさしい地下空間セミナー」は、「災害」を大きなテーマとして、特に災害時における人の行動に焦点を当てて、その動態や避難行動について取り上げます。

とりわけ制約の多い地下空間では、大勢の往来があるところでの災害時における対応について、様々な課題を抱えていると聞きます。都市防災や避難行動に関する研究で深く携わっておられる専門家より、災害時の地下空間等における人の行動など詳しく話題提供いただきます。また全体討議では、話題提供に触れながら防災の取組みや群衆の行動心理にも言及します。この7月に開催の防災・心理ジョイントセミナーに続いて、地下空間の防災について、人の行動を捉えながら皆さんと一緒に考えていきたいと思えます。

なお、本セミナーは、土木学会継続教育 CPD プログラム（1.9 単位）です。

■主催：公益社団法人土木学会 地下空間研究委員会（担当：心理小委員会）

■開催方法：オンラインセミナー（参加は以下 2 つの方法から選択となります。）

1.議論参加型（Zoom 会議に参加） 2.聴講型（YouTube ライブ配信を聴講）

■プログラム：

17:00～17:10 開催概要 岩崎 裕直（心理小委員会委員長・(株)KCS 技術顧問）

17:10～18:00 ご講演 廣井 悠（東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 教授）

「災害と地下空間 — 災害時における人の行動を捉える —」

18:00～18:05 休憩

18:05～18:40 全体討議

廣井 悠（東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻 教授）

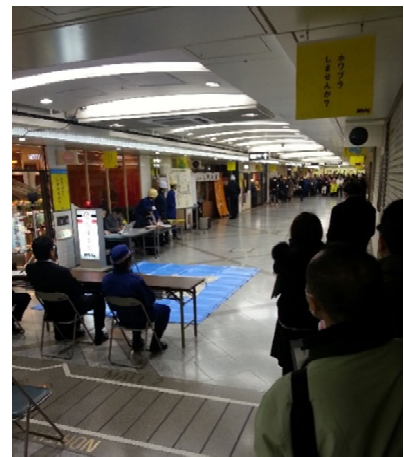
西田 幸夫（心理小委員会委員、元埼玉大学理工学研究科 環境科学・社会基盤部門
特任准教授）

岩崎 裕直（モデレーター）

18:40～18:55 質疑応答

18:55～19:00 閉会挨拶・次回セミナー案内

加藤 完治 氏（心理小委員会副委員長・(株)GK 設計）



写真：地下街での避難訓練風景

■参加費：無料

■土木学会継続教育 CPD：1.9 単位

申請方法等は地下空間研究委員会ホームページをご参照ください。

土木学会の単位が他団体のルールにより認められない場合があります。予めご了承ください。

■申込方法：土木学会ホームページ <http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>

「本部主催行事の参加申込」よりお申込みください。

■定員：「1.議論参加型」は、先着 50 名とさせていただきます。

■申込締切：2022 年 10 月 18 日（火）

■問合せ先：公益社団法人土木学会 研究事業課 TEL：03-3355-3559

担当：小澤 一輝 k-ozawa@jsce.or.jp

■詳細：地下空間研究委員会ホームページ (<http://www.jsce-ousr.org/>)

【CPD 受講証明を必要とされる方へ】

本セミナーは、土木学会継続教 CPD プログラム（1.9 単位）ですが、オンラインでの開催であり、受講証明書を発行するにあたり通常の実地でのセミナーと異なる手続きが必要です。

・受講証明書をご希望される方は、必ずセミナー終了後、下記 [Google フォームより取得の申請](#)をお願いいたします。

<https://forms.gle/9gRVAvUTK8uyUdpL8>

- ・受講証明書を発行するにあたって、「受講証明発行用アンケート（受講して得られた学びや気づきや所見を 100 文字以上で記載していただく等）」をご提出していただくことが必要です。
- ・建設系 CPD 協議会加盟団体 CPD システム利用者は、各団体のルールに沿って、CPD 単位の申請をお願い致します。
- ・他団体へ CPD 単位を登録する場合は、その団体の登録のルールに則って行われます。単位が認定されるかどうかは、直接その団体にお問合せください。

■講演者プロフィール：



廣井 悠（ひろい ゆう）

東京大学大学院工学系研究科・教授。1978 年 10 月東京生まれ。東京大学大学院工学系研究科・特任助教、名古屋大学減災連携研究センター・准教授等を経て 2021 年 8 月より現職。博士(工学)、専門は都市防災、都市計画。平成 28 年度東京大学卓越研究員、2016-2020 年 JST さきがけ研究員（兼任）。受賞に文部科学大臣表彰若手科学者賞、都市住宅学会学会賞、東京大学工学部 Best Teaching Award 等。内閣府「首都直下地震帰宅困難者等対策検討委員会」座長等も務める。